

第27回政府現地対策本部会議、第30回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年5月11日（水） 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

2 被害の状況

人的被害について、高森町において関連死の報告が1名あり、関連死19名を含め死者は68人。不明者1人。

重症者、軽傷者は分類未確定も含め1,652人。

住家被害の状況について、調査継続中であるが、全壊、半壊、一部破損合計で75,390棟。

避難の状況について、25市町村、252カ所の避難所において、11,676人の方が避難されている。

避難指示等の発令状況について、避難指示が3市町、避難勧告が7市町村で発令中。

3 県等の対応状況

(健康福祉部)

7番、社会福祉施設等への応援職員派遣の状況について、10日現在で、121名の応援要望に対して、全国から職員受入数104名の状況。

12番、仮設住宅への対応で、10市町村について工事着手(27団地、1,001戸)。

16番、高齢者や障がい者等への宿泊施設の提供について、現在、92組、201人に対して提供を行っている。

17番、避難所の過密緩和支援について、10日現在で255人の申込み状況。

21番、義援金の状況について、76億円余の義援金となっている。

22番、緊急小口資金貸付の特例措置の状況について、10日現在で、貸付申込件数2,172件の状況。

(環境生活部)

水道施設の被害状況について、下線の部分が変わっているところ。

益城町のところが、2,326件について、※長期にかかるものが3,000件。数字が小さくなっているのは、損壊地域にあっても仮設管等により復旧作業を実施しているということ。

廃棄物の処理状況について、下線部分に変更になっているところ。

(土木部)

応急仮設住宅を大津町と山都町でも着手した。

現在のところ、10市町村27団地1,001戸着手している。

(教育庁)

公立学校の再開状況について、本日の西原村の3校で、全ての公立学校が再開することができた。引き続き、給食、通学、心のケアの問題について取り組んでまいりたい。

(県警本部)

引き続き、避難所における防犯指導、相談活動、被災地及び周辺でのパトロール、犯罪検挙、交通整理活動を継続的に実施している。

4 国等の対応状況

(自衛隊)

本日をもって、熊本市等の支援を終わり、明日以降は、益城町、西原村、南阿蘇村で給水支援と入浴支援を実施する。

(海上保安庁)

熊本港において、巡視船により生活支援活動を継続しているが、利用者については、減少傾向にある。

(気象台)

震度1以上の回数は、13時まで9回。相変わらず20回前後の地震が毎日発生している。引き続き余震活動が活発な状況。今後も最大震度6弱程度の揺れに注意が必要。

天気は、明日は晴れ。寒暖の差が激しくなるので健康管理に注意が必要。

5 政府現地対策本部長の発言

(松本副大臣)

甲佐町、氷川町、美里町を訪問した。非常に落ち着いている。避難所も訪問したが、一時よりも快適になって、要望を頂きながらではあるが、落ち着いて復興に向かって着実な歩みを進めているなということを感じてきた。

昨日、今日、仮設住宅の建設現場も見せて頂いた。今日見せて頂いたところは、屋根も載って、床も張られたところもあった。大変頼もしく力づけられてきた。

知事が、一昨日、国の非常対策本部会議にお出ましを頂いて、総理、関係閣僚揃った中で、思いをしっかりと伝えていただいたことも、私としてはありがたいことであった。

しっかりと、国、県、市町村、チームくまもととして復興を前に進めたいと考えている。今後ともよろしくお願ひしたい。

6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

昨日の雨は、県下に大雨・洪水警報が発令され、天草地方では、土砂災害警戒情報

も発表された。幸い、大きな被害報告は受けていないが、梅雨に向け、皆さん万全の準備をお願いしたい。

また、気温や湿度の高い日が続いておりますので、健康面、衛生面にも注意していただきますようお願いしたい。

おとといの9日、復旧・復興に関する要望のため、政府の関係先を回り、政府の非常災害対策本部会議にも出席した。そこで、東日本大震災を踏まえた、特別な立法措置をはじめとする政府の絶大な支援について、お願いをしてきた。

政府には、昨日、今回の地震を、大規模災害復興法に基づく「非常災害」に指定する閣議決定をしていただいた。これにより、阿蘇大橋や俵山トンネルの復旧など、本来、県が行う復旧事業を、国に代行していただくことが可能となり、大変ありがたく、また心強く思っている。

また、本日、阿蘇郡市の皆さまから、県に対しての要望書をいただいた。各市町村が直面している切実な課題を乗り越えるため、県としてもこれらの要望をしっかりと受け止めていきたいと思う。

さらに、昨日と本日の2日間にわたり、「くまもと復旧・復興有識者会議」を開催した。

熊本の復興・再生について、熱く議論していただき、国土強靱化計画と整合を図った復旧・復興プランの策定などを緊急提言という形にまとめていただいた。

本県としても、今回いただいた御提言を踏まえ、1日も早く復旧・復興プランを策定し、創造的な復興を目指して着実に歩みを進めて参りたいと考えている。

皆様方の御協力をお願いしたい。

(以 上)